



ニュースリリース

[2021年2月2日]

マレリ、チーフ・コマーシャル・オフィサーに Juan Manuel Mollá を任命

大手自動車関連サプライヤーのマレリ（本社：埼玉県さいたま市）は本日、チーフ・コマーシャル・オフィサー（CCO）に Juan Manuel Mollá を任命することを発表しました。これまで2年間 CCO およびチーフ・テクノロジー & エンジニアリング・オフィサーを務めた Detlef Juerss は、3月末に退社する予定です。

Juan は、自動車業界で30年以上の国際的な経験を持ち、2008年に Magneti Marelli に入社しました。アルゼンチン事業のゼネラル・マネージャーを皮切りに、イタリアに拠点を置くグリーン・テクノロジー・システムのグローバル・セールス・ディレクターなど、社内のさまざまな役職を13年間にわたって務め、2018年からは、ドイツを拠点にオートモーティブ・ライティングのビジネス開発・セールス・マーケティングをリードしています。Juan は、日本をベースとする木村裕哲 EVP、CCO と協力して、主要な国際マーケットを担当します。

マレリの CEO であるベダ・ボルゼニウスは次のようにコメントしています。

「昨年12月に発表した『Ambition（大志）2024』にもあるとおり、お客さまへの理解を深め顧客ベースを多様化することは、当社の将来の成功に向けての重要な要素です。マーケットに関する Juan の豊富な知識、既存顧客とグローバル OEM とのネットワークは、オートモーティブ・ライティングでの実績の賜物であり、前進するマレリにとっても大きな財産となるはずです。」



Juan は新たな職務について、次のようにコメントしています。

「マレリにおける重要な役職に任命されたことを光栄に感じるとともに、今後の挑戦に興奮しています。グローバルかつ熟練したセールスチームは、会社の長期的な目標を達成するために邁進を続けていきます。次世代テクノロジー、クラス最高のパフォーマンスと競争力は、お客さまをサポートし現在および将来のモバイル市場のリーダーになるために不可欠なものです。」

マレリについて

マレリは、世界的な独立系自動車関連サプライヤーです。イノベーションとモノづくりに確かな実績を持つ当社の使命は、お客様やパートナーと協力して、より安全で、より環境に優しく、よりコネクティビティの高い世界を造ることを通じて、モビリティの未来を変えることです。全世界に約 60,000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカに約 170 の施設や研究開発センターを有し、2019 年の売上は約 134 億ユーロ(約 1 兆 5,410 億円)に達しています。